



令和3年5月25日

中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所

美和ダム・小渋ダムの防災操作について

1. 概要

梅雨前線と低気圧の影響による出水で、美和ダム・小渋ダムがそれぞれ防災操作を行いましたので、その状況についてお知らせいたします。

梅雨前線と低気圧の影響により、5/20からの降雨は九州から北海道の広範囲に非常に激しい降雨をもたらし、長野県南部では各地で大雨となりました。

●美和ダム

美和ダムでは、5月20日から5月21日までの流域平均累計雨量は約157mmを記録し、最大放流量は約200m³/sでした。

●小渋ダム

小渋ダムでは、5月20日から5月21日までの流域平均累計雨量は約179mmを記録し、最大放流量は約240m³/sでした。

防災操作の詳細については、別紙の通りです。

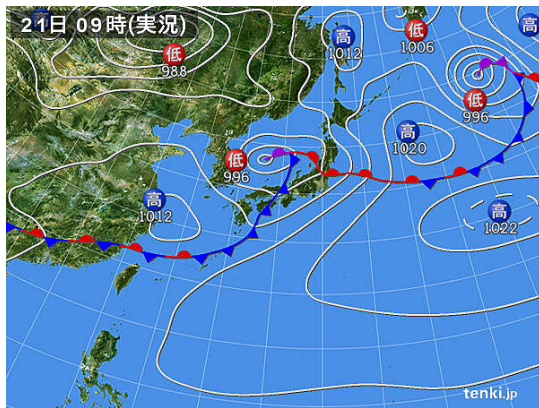
配布先

飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ

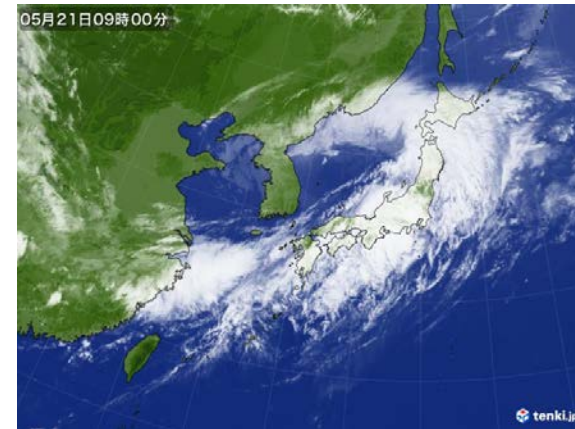
主催及び問い合わせ先

天竜川ダム統合管理事務所 管理課長 岡本 TEL：0265-88-3729

- 梅雨前線と低気圧の影響により、九州から北海道の広範囲に非常に激しい降雨をもたらし、長野県南部では各地で大雨となりました。
- 美和ダムでは、5月20日から5月21日までの**流域平均累計雨量**は約**157mm**を記録し、この期間における**最大時間雨量**は約**19mm**（5月21日9時）を記録しました。
- 小渋ダムでは、5月20日から5月21日までの**流域平均累計雨量**は約**179mm**を記録し、この期間における**最大時間雨量**は約**23mm**（5月21日10時）を記録しました。



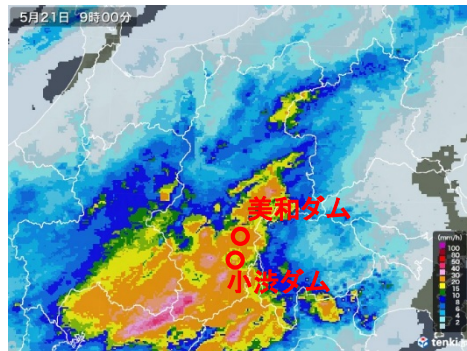
天気図(5月21日 9時00分)



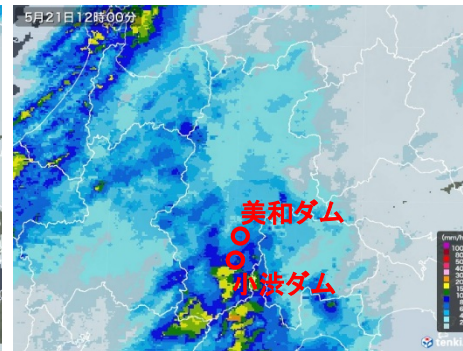
気象衛星(5月21日 9時00分)



レーダ雨量(5月21日 6:00)



レーダ雨量(5月21日 9:00)



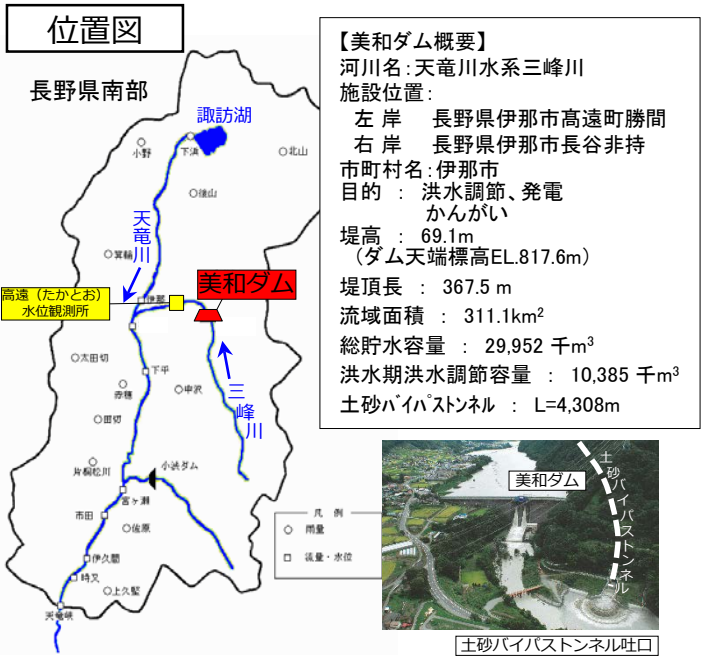
レーダ雨量(5月21日 12:00)



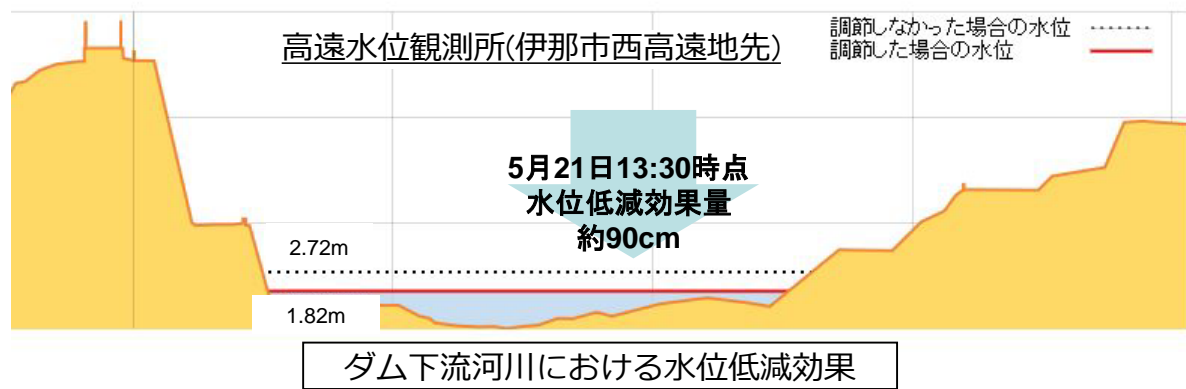
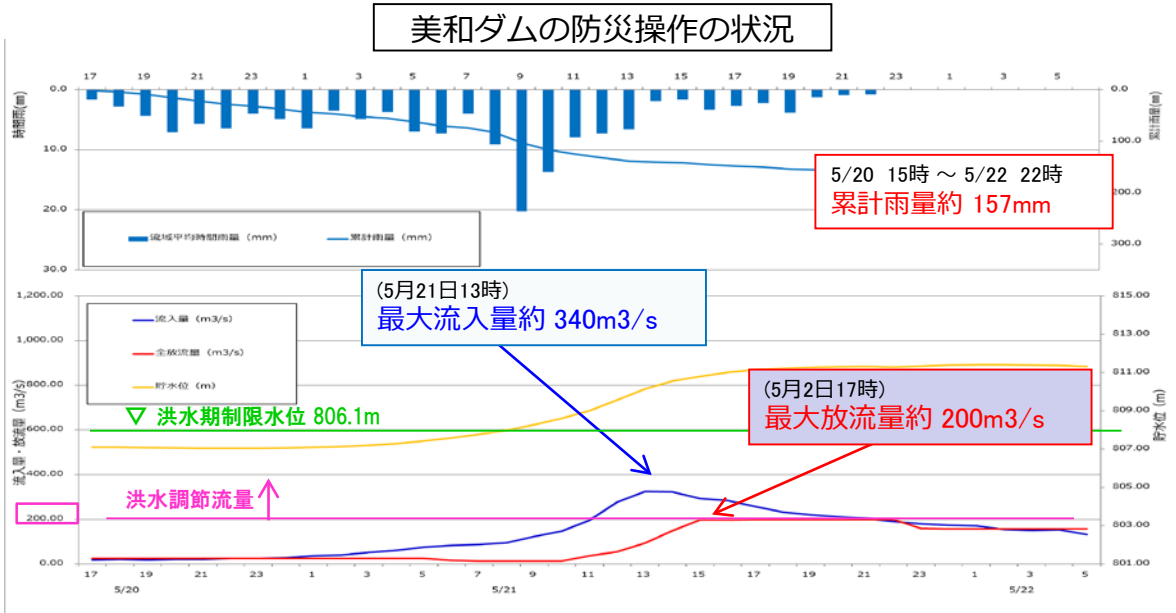
レーダ雨量(5月21日 15:00)

美和ダム【防災操作による水位低減効果】

- 5月20日の降り始めからの降水量は、美和ダム流域平均で約157mmを記録しました。
- 5月20日より降り続いた降雨により、美和ダムでは洪水量（200m³/s）に到達し防災操作を実施しました。
- 洪水ピーク流入量は約340m³/sであり、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の高遠（たかとお）水位観測所における水位低減効果は約90cmと推定されます。



※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。



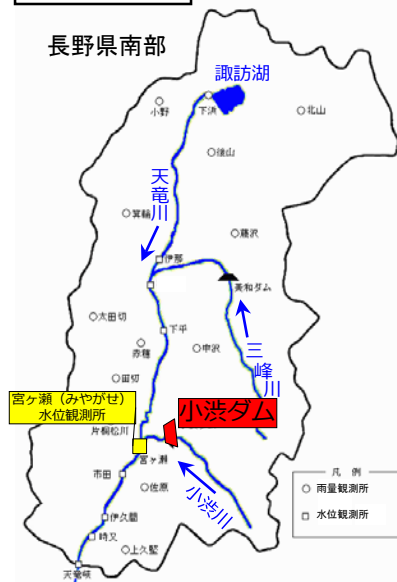
小渋ダム【防災操作による水位低減効果】

- 5月20日の降り始めからの降水量は、小渋ダム流域平均で約179mmを記録しました。
- 5月20日より降り続いた降雨により、小渋ダムでは洪水量（200m³/s）に到達し防災操作を実施しました。
- 洪水ピーク流入量は約500m³/sであり、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の宮ヶ瀬（みやがせ）水位観測所における水位低減効果は約76cmと推定されます。

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります

位置図

長野県南部



【小渋ダム概要】

河川名：天竜川水系小渋川
所在地：長野県中川村、松川町

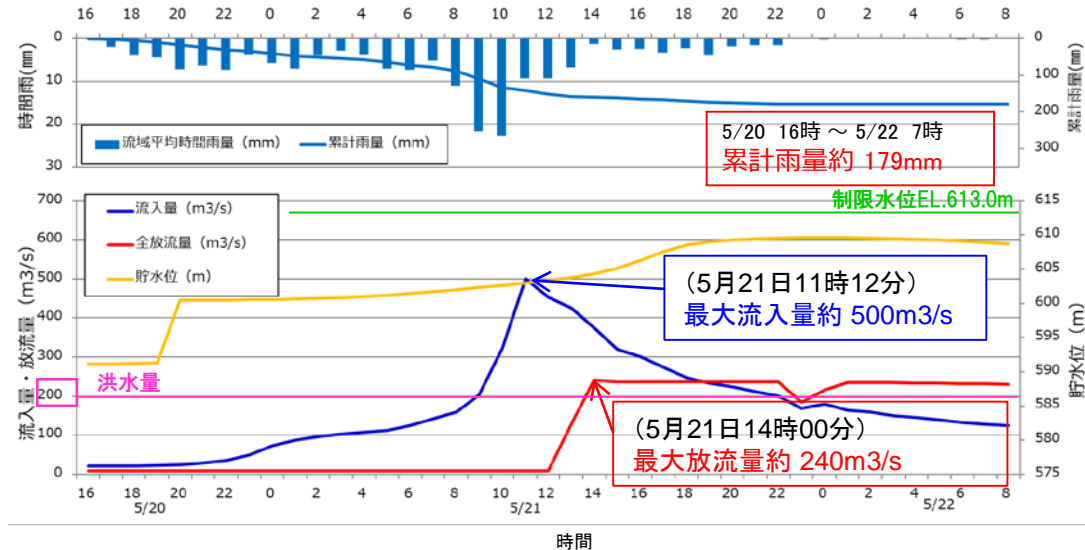
目的：洪水調節、発電
特定かんがい

堤高：105.0m
(ダム天端標高EL.620.0m)

堤頂長：293.3 m
流域面積：288.0 km²
総貯水容量：5,800 万m³
洪水調節容量：3,390 万m³
(梅雨期)

管理開始：S44年7月～

小渋ダムの防災操作の状況



宮ヶ瀬水位観測所(長野県松川町生田地先)

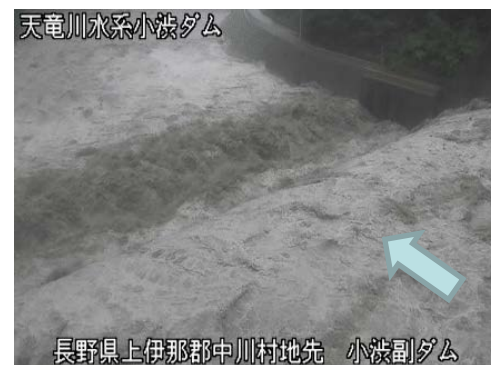
調節しなかった場合の水位
調節した場合の水位 ———

5月21日11:10時点
水位低減効果量
約76cm

ダム下流河川における水位低減効果



小渋ダム放流状況(5/21 12時)



小渋ダム直下副ダム流下状況(5/21 12時)